

## メルコリゾート、2018年第4四半期に過去最高の調整後プロパティEBITDAを記録し、四半期配当はADS1株当たり0.1551米ドルに増配

【2019年2月19日マカオ発】アジアにおいてゲーミングおよびエンターテインメントを提供する統合型リゾート施設の開発・所有・運営を行うメルコリゾート&エンターテインメント・リミテッド(NASDAQ:MLCO、以下「メルコリゾート」または「当社」)は、未監査の2018年第4四半期及び通期の決算を本日発表しました。

2018年第4四半期の純売上高13億9,650万米ドルであり、前年同期の13億3,260万ドルから約5%増となりました。純売上増の主な要因は、グループ全体のローリングチップ分野及びマス・ゲーミング・テーブル分野の売上総利益の増加によるものであり、当社が財務会計基準審議会により発行された新たな売上認識基準(以下「新売上基準」)を採用したことにより売上減として報告されたコミッションの増加によって一部相殺されています。当社は、修正遡及法に基づき2018年1月1日に新売上基準を採用しました。2018年1月1日以降の各期間の業績は新売上基準を基に算出されている一方で、前年度の業績は調整されておらず、これまでの基準に沿って引き続き報告されています。新売上基準を採用する以前の基準では、2018年第4四半期の純売上高は前年同期の13億3,260万米ドルから約12%増の14億9,770万米ドルとなる計算でした。

2018年第4四半期の営業利益は2億400万米ドルであり、前年同期の1億2,900万米ドルと比較して58%増となりました。

2018年第4四半期の調整後プロパティEBITDAは4億2,520万米ドルであり、前年同期の3億3,980万米ドルと比較して25%増となりました。前年からの増加は、グループ全体のローリングチップ分野及びマス・ゲーミング分野の業績が好調であったことによるものです。

2018年第4四半期の純利益は1億2,800万米ドル(ADS1株当たり0.27米ドル)であり、前年同期の8,120万米ドル(ADS1株当たり0.17米ドル)からの増益となりました。2018年第4四半期の非支配株主に帰属する純利益は220万米ドルであり、それに対し前年同期の非支配株主に帰属する純損失は980万米ドルであり、いずれもスタジオ・シティとシティ・オブ・ドリームス・マニラに関連するものです。

メルコリゾートの会長兼最高経営責任者(CEO)であるローレンス・ホーは、次のように述べています。

「ランドマークとしての地位を固め、数々の賞に輝いたモーフィアスの営業開始及びマカオのマス・ゲーミング市場の堅調な成長が当社の業績を牽引し、厳しいマクロ環境にもかかわらず、プロパティEBITDAは過去最高水準に達しました。」

「常に最高峰を目指そうとする当社の姿勢は、2019年度版のミシュランガイドでも評価され、引き続き星付きレストランの店舗数では世界一の統合型リゾート事業者として輝いています。当社が運営するレストランのうち6店舗が合計で10のミシュラン星を獲得し、これまでの最高記録を達成したことを非常に誇りに思っています。その中には、オープン後僅か6か月で二つ星を獲得したアラン・デュカス・アット・モーフィアス、及びシティ・オブ・ドリームスにおける三つ星のジェード・ドラゴンが含まれます。」

「モーフィアスのオープニングは、シティ・オブ・ドリームスの新たな門出を示すものです。加えて、シティ・オブ・ドリームスの2階において大幅にグレードアップされたVIP用ゲーミングスペースを最近改装オープンしました。また、ヌワの定期改修は間もなく開始し、今後18か月間にグレードアップされた客室が利用開始となる予定です。」

「今年 1 月には、マカオ政府は当社に対し、シティ・オブ・ドリームスで追加的に 40 台のゲーミング・テーブルを運営することを許可しました。当社の許可申請を審査し承認していただいたマカオ政府に心から感謝申し上げます。」

「スタジオ・シティでは、世界で最も驚きのあるスタントショーであるエレクロンの最近のローンチなど、一連の施設アップグレードにより引き続きエンターテインメント・メニューの充実に努めています。今年 1 月には、臨時アトラクションのレジェンド・ヒーローズ・パークを開業し、その恒久的な施設の年内開業に向けて着々と準備を進めています。最後に、トランポリンパークのフリップ・アウトは 2019 年上半期にオープンする予定です。」

「フィリピンでは、シティ・オブ・ドリームス・マニラが、マス・ゲーミング売上の堅調な成長に牽引され、引き続き良好な四半期業績を実現しました。」

「当社の取締役会は、当社の現在の資金流動性と将来予期される資本ニーズに鑑み、普通株式 1 株当たりの四半期配当を従来の 0.04835 米ドルから 7%増配し、普通株式 1 株当たり 0.0517 米ドル（1ADS 当たり 0.1551 米ドルに相当）とすることを決定しました。さらに、2018 年第 3 四半期の決算発表以降、当社の取締役会は、2018 年 11 月に公表された 5 億米ドルの自社株買戻しプログラムに基づき、約 1,000 万口の ADS（約 1 億 6,500 万米ドル）の買戻しを行いました。」

「最後に、日本進出については引き続き当社として特に注力していきます。当社は、今後の成長が見込める観光拠点である日本において間もなく始まる、次世代に向けた統合型リゾートの開発が、大きく前進することになることを期待しています。当社が注力するアジアのプレミアム分野は、高品質な施設および世界トップレベルのエンターテインメントの提供とともに、市場をリードするソーシャルセーフガードならびにコンプライアンスのための献身により、地方自治体や地域社会にとって理想的なパートナーとなることを当社の責務として捉えております。これによりメルコリゾートは、世界に類を見ない日本ならではの特徴ある統合型リゾートを開発するという日本のビジョン実現を、力強くサポートできると信じています。」

リリース全文はこちらをご覧ください：[https://www.melco-resorts.jp/en/doc/Release\\_JP\\_20190219.pdf](https://www.melco-resorts.jp/en/doc/Release_JP_20190219.pdf)

## セーフハーバー条項

本プレスリリースには、1995 年米国私募証券訴訟改革法(the U.S. Private Securities Litigation Reform Act of 1995)のセーフハーバー(safe harbor)条項で定められている「将来予想に関する記述」(forward-looking statements)が含まれています。書面あるいは口頭に関わらず、当社が米国証券取引委員会(U.S. Securities and Exchange Commission (SEC))に定期的に提出する報告書類、株主向けの年次報告書、プレスリリースその他の文書、および当社の取締役、役員、従業員が第三者に向けて話す発言内容にも、同様の「将来予想に関する記述」が含まれている場合があります。会社が信じていることや見込んでいることなど、過去の歴史的事実ではない内容はすべて「将来予想に関する記述」です。これらの「将来予想に関する記述」には、リスクや不確定要素が内在し、多くのさまざまな要因により、実際の結果が「将来予想に関する記述」の内容と著しく異なる場合があります。これらの要因とは、(i) マカオおよびフィリピンでのゲーミング市場及び訪問者の成長動向、(ii) 資本市場 および金融市場の変動、(iii) 地域および全世界レベルでの経済状況、(iv) 当社が見込んでいる成長戦略、(v) ゲーミング監督当局およびその他政府の認可および規制、(vi) 当社の将来的な事業展開、経営成績および財務状態などが含まれますが、この限りではありません。「かもしれない」、「だろう」、「期待される」、「予定である」、「目指す」、「狙う」、「見積る」、「意向である」、「計画である」、「信じる」、「潜在的な」、「継続する」、「となる模様」といった記述およびこれらに類似する表現により「将来予想に関する記述」を特定できる場合があります。それらのリスク、不確定要素、変動要因、その他に関するより詳細な情報は、当社が SEC に提出する報告書類に記載されます。本プレスリリースに記述されるすべての情報は、本プレスリリースの日付時点のものであり、適用される法令において必要とされる場合を除き、当社はそれらの情報の訂正や更新をする義務を一切負いません。

## 会計原則以外の金融指標

- (1) 「調整後 EBITDA」には利子、税金、減価償却費、開業前費用、開発費、資産関連費用、株式報酬、フィリピンの協力団体(「フィリピン団体」)への支払い、Belle Corporation へ支払う地代、Belle Corporation への固定資産売却益純額、その他営業外損益は含まれていません。「調整後プロパティ EBITDA」には利子、税金、減価償却費、開業前費用、開発費、資産関連費用、株式報酬、フィリピン団体への支払い、Belle Corporation へ支払

う地代、Belle Corporation への固定資産売却益、会社およびその他費用その他営業外損益は含まれていません。調整後 EBITDA と調整後プロパティ EBITDA は、ゲーミング企業の業績評価基準として広く使われている指標と思われるため、あくまで補足的な情報として公開しています。当社経営陣が調整後 EBITDA や調整後プロパティ EBITDA を使うのは、ゲーミング業界の業績評価や競合他社との業績比較をする場合です。当社が調整後 EBITDA と調整後プロパティ EBITDA を公開するのは、投資家によっては企業の借入れ・返済能力や資本的支出能力、資本要件を満たす能力を判断する際にこれらの指標を利用するためです。ゲーミング業界の企業は従来から、US GAAP に則り金融指標の補足として調整後 EBITDA と調整後プロパティ EBITDA を公開してきました。しかしながら、調整後 EBITDA および調整後プロパティ EBITDA を、営業利益に代わる当社業績指標として使用することはできず、営業活動によるキャッシュフローの代わりに流動性指標や US GAAP が規定するその他の指標として使うこともできません。純利益と異なり、調整後 EBITDA および調整後プロパティ EBITDA は減価償却費や支払利息を含んでいないため、現在および将来の資本的支出や資本コストを反映していません。当社はこれらの制約を考慮し、US GAAP の指標と併せて、調整後 EBITDA と調整後プロパティ EBITDA を業績評価の比較指標のみに使っています。

US GAAP の指標には、営業利益、純利益、営業活動によるキャッシュフロー、キャッシュフローデータなどがあります。当社が重要指標として使うキャッシュフローには、修正後 EBITDA や修正後プロパティ EBITDA に反映されない資本的支出や支払利息、借入金の元本返済、税金、その他経常費用、経常外費用が含まれています。また、当社の計算による修正後 EBITA や修正後プロパティ EBITDA は他社の算出方法と異なる可能性があるため、直接比較できない場合があります。当プレスリリースでの決算報告後、速やかに調整後 EBITDA と調整後プロパティ EBITDA を修正し、US GAAP に沿った同等の金融指標で算出のうえ公開いたします。

- (2) 「調整後純利益」には開業前費用、開発費、資産関連費、債務償還による減益及び債務修正に関連する費用などが含まれていません。さらに負債返済による損失、負債の条件変更に関する費用、非支配持分の純損失、各管轄の税法に準拠した課税措置による税金も含まれていません。メルコリゾートの調整後純利益およびメルコリゾートの 1 株当たり調整後純利益(「EPS」)は、ゲーミング企業の業績評価基準として広く使われている指標と思われるため、補足的な情報として公開しています。US GAAP で集計した純利益、EPS と併せて、これらの指標を当社の通期業績評価の補足資料として、経営者または投資家が利用することがあります。メルコリゾートの調整後純利益、およびメルコリゾートの 1 株当たり調整後純利益は、他社の算出方法と異なる可能性があるため、直接比較できない場合があります。当プレスリリースでの決算報告後、速やかにメルコリゾートの調整後純利益を修正し、US GAAP に沿った同等の金融指標で算出のうえ公開します。

## メルコリゾート&エンターテインメント・リミテッドについて

米国預託株式(ADS)を米国 NASDAQ グローバル・セレクト・マーケット(NASDAQ : MLCO)に上場するメルコリゾート&エンターテインメント・リミテッドは、アジアにおける統合型リゾート施設の開発・所有・運営を行う会社です。当社は、現在、マカオのタイパ地区にあるゲーミングホテル、アルティラ・マカオ(www.altiramacau.com)およびマカオのコタイ地区にある統合型都市リゾート、シティ・オブ・ドリームス(www.cityofdreamsmacau.com)を運営し、マカオのコタイ地区にある映画をテーマとした統合型のエンターテインメント、リテール、ゲーミング・リゾートであるスタジオ・シティ(www.studiocity-macau.com)の株式の過半数を所有するとともに運営し、ノンゲーミングとしてはマカオ最大の電子ゲーミング・マシンの運営を手がけるモカ・クラブ(www.mochaclubs.com)を運営しています。また、フィリピンでは当社子会社がゲーミング、ホテル、リテールおよびエンターテインメントを統合したリゾート施設、シティ・オブ・ドリームス・マニラ(www.cityofdreams.com.ph)を運営しています。詳しくは、www.melco-resorts.com をご覧ください。当社の筆頭株主は、ローレンス・ホーが率いるメルコ・インターナショナル・ディベロップメント・リミテッドです。同社は香港証券取引所に上場しています。

### 【投資に関するお問合せ先】

リチャード・ホアン  
インベスター・リレーションズ担当ディレクター  
Tel: +852 2598 3619  
Email: richardlshuang@melco-resorts.com

MELCO RESORTS & ENTERTAINMENT JAPAN LIMITED  
メルコリゾート&エンターテインメントジャパン株式会社

JAPAN HEADQUARTERS 本社  
3F, PALACE BUILDING, 1-1-1 MARUNOUCHI CHIYODA-KU, TOKYO, 100-0005 JAPAN  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-1-1 パレスビル 3F

OSAKA OFFICE 大阪オフィス  
12F, PRIME SQUARE SHINSAIBASHI, 2-7-18 SHINSAIBASHISUJI CHUO-KU, OSAKA, 542-0085 JAPAN  
〒542-0085 大阪府大阪市中央区心斎橋筋 2-7-18 プライムスクエア心斎橋 12F